

**INACOME 起業者・企業発信 MATCHING**

# **学生の力を農山漁村の事業の促進力に！**

**地域企業と都市部学生の協働を実現する「地域ベンチャー留学」**

2023年9月 @オンライン



NPO法人ETIC.(エティック)

伊藤 淳司

junji@etic.or.jp

変革の現場に挑む機会を通して、アントレプレナーシップ(起業家精神)溢れる人材を育みます。そして、創造的で活力に溢れ、ともに支え合い、課題が自律的に解決されていく社会・地域を実現していきます。

- 設立: 1993年(法人化: 2000年3月)
- スタッフ: 137名(うち専従50名)※2022年5月31日現在 年間予算: 約9.7億円(※2022年5月31日現在)

事業内容:

### 1)ベンチャー・NPO・地域中小企業向け長期実践型インターンシップ事業(1997年～)

2800名の大学生が参加。うち、154名が起業または創業メンバーとして参画。経営者の挑戦学生の当事者意識。

### 2)ソーシャルイノベーション事業(2002年～)

400名以上の社会起業家を輩出。事業継続率100%を超える。地域の創業支援事業や起業型協力隊事業も全国の自治体と連携。

### 3)ローカルイノベーション事業(チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト /2004年～)

全国70地域の地域コーディネート機関(=まちの人事部機能)と連携。大学生の実践型インターンや社会人右腕・副業事業、関係人口事業等で協働。

### 4)震災復興支援事業(右腕派遣事業など /2011年～)

### 5)ソーシャルベンチャー・NPO求職サイト『DRIVE』(2013年～)

プログラム(一部抜粋)



30地域のコーディネート機関と運営。面白いプロジェクトが見つかる! 日本全国インターンシップ検索サイト。



1か月間、地域に住み込みで経営者とプロジェクトに挑戦する地域ベンチャー留学。



地域企業の経営者と二人三脚で実施するプロジェクトに副業で参画する人材のためのマッチングサイト。



各地で挑戦の生態系の創出を目指す70地域のコーディネート機関のコミュニティ。ノウハウ交換と協働プロジェクトの種を育む。



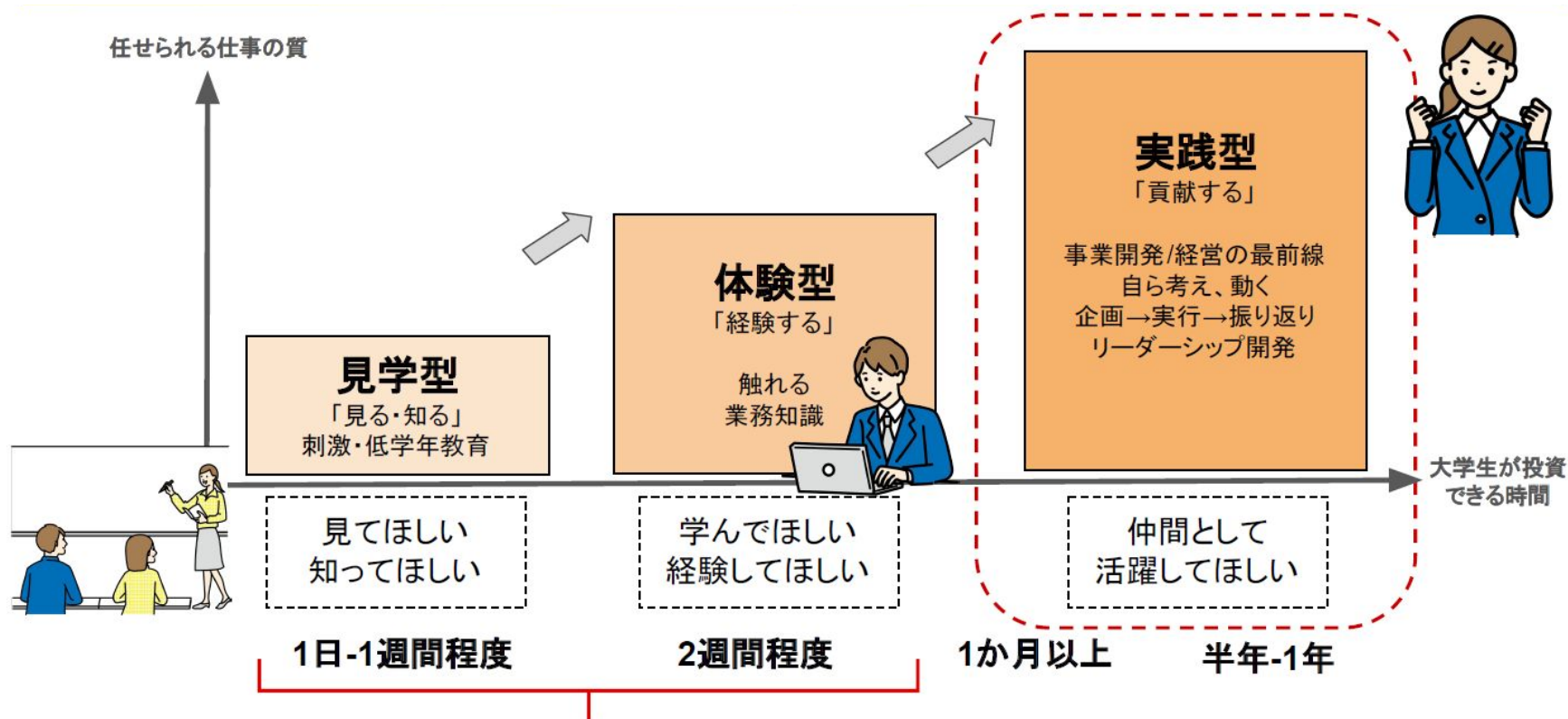
家業イノベーションラボ。二代目・三代目経営者らによる家業の成長支援を推進するプロジェクト。



地域で新たな仕事を生み出す起業家「ローカルベンチャー」創出を目指すプロジェクト

# インターンシップの種類と定義

©2023 ETIC. All rights reserved.





地域との挑戦は、  
わたしを強くする。

The challenge for the local makes me stronger.

**学生が春休み・夏休み限定で、地域に4-6週間住み込み、  
企業経営者の右腕として一緒に新規プロジェクトに挑戦。**

**2011年のスタート以来・・・**

／ これだけの学生が  
興味を持ちました ／

**4200人**

**総申込者数**

／ これだけの学生が  
挑戦しました ／

**1600人**

**総参加者数**

／ これだけの企業が  
導入しました ／

**500社**

**受入企業数**

**実施地域数: のべ146市町村(44都道府県)**

北海道、青森県、秋田県(秋田市・羽後町・美郷町)、岩手県(紫波町・花巻市・盛岡市・矢巾町・釜石市・宮古市・大船渡市・陸前高田市・住田町)、宮城県(石巻市・女川町・南三陸町・名取市・仙台市)、山形県(鶴岡市・酒田市)、福島県(南相馬市・飯坂町・いわき市・福島市・相双地域・平田村・葛尾村・郡山市)、千葉県(銚子市)、茨城県(県北地域)、群馬県(桐生市)、埼玉県(ときがわ町)、新潟県(長岡市)、神奈川県(塩尻市)、栃木県、静岡県(御殿場市)、岐阜県、愛知県、三重県、石川県(七尾市・志賀町)、富山県(富山市・黒部市)、福井県(福井市・池田町)、滋賀県、奈良県、和歌山県(田辺市)、兵庫県(神戸市・宍粟市)、京都府、愛媛県(松山市・宇和島市)、岡山県(岡山市・和気町・笠岡市・倉敷市)、山口県、広島県、香川県、高知県、徳島県(那賀町・牟岐町・海陽町・美波町・阿南市・上勝町)、福岡県、鳥取県、宮崎県、佐賀県、鹿児島県、大分県(竹田市)、熊本県(五木村・南小国町)、沖縄県..

**経営者**が  
本当はやってみたい、試してみたいけど、  
どうしても手が付けられていない

将来の会社の新たな方向性に繋がる  
**本気の**プロジェクトを

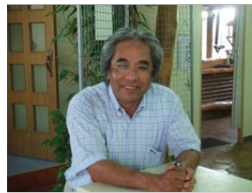
若者と**一緒に一定期間**、試してみる。

# 事例紹介

©2023 ETIC. All rights reserved.



## 美ら海水族館に来る年間350万人の観光客を本部町へ。 滞在型宿泊プラン実現に向け若者・よそ者視点を活かす。



沖縄県北部でアルマリゾート棚原社長が運営する古民家を活用した宿泊施設の一つ。年間350万人が訪れる美ら海水族館がある本部町を中心としたエリア「山原（やんばる）」。多くの手つかずの自然など多くの魅力的なスポットが素通りされている。

沖縄県中南部出身の3名の1年生が参加。地元の人たちから熱烈な歓迎を受けながら、本部町に密着しながらプロジェクトを実施。初めてみる「大学生」だからこそ見える地域の魅力、人の魅力に地域側も初めて気づく。



|                     |                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業内容                | マンション、古民家を活用した宿泊施設の運営<br>(棚原社長は本部町観光協会副会長も兼任)                                                                                                                                                                    |
| 期間<br>勤務頻度          | 3週間(3名の琉球大学観光産業科学部1年生)<br>※コーディネート団体：株式会社ルーツ                                                                                                                                                                     |
| 受入側の<br>導入目的        | ・観光客を本部町を呼び込む滞在型プランと一緒に考える企画力なる仲間が欲しい<br>・自分たちでは気づかない本部町の魅力を外の視点で再発見して欲しい                                                                                                                                        |
| インターン生の<br>プロジェクト内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ステップ1：<br/>宿泊施設の運営業務全般（接客・フロント・掃除等）</li> <li>●ステップ2：<br/>本部地域の魅力を発掘・体感しながら、魅力の顕在化と整理。観光客のニーズもタイプ別に整理。モデル事例やリサーチ業務</li> <li>●ステップ3：<br/>週1の企画会議で社長や社員からフィードバック</li> </ul> |
| 成果など                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在型宿泊プランを103個提出</li> <li>・お金をなるべく使わないで過ごす「スヌーププラン」「花嫁花婿修行プラン」は実際に商品化。</li> <li>・社員教育：ルーティン業務に追われて仕事マンネリ化しやすい小さい会社にとって、職場に新しい風が吹き、立ち止まって考える時間が出来、モチベーションも向上した</li> </ul>  |

## 地域に根付いて90年、歴史と技術の建設会社。 次の世代に繋ぐ地元学生への魅力発信プロジェクト



完成したリーフレットとパンフレット。  
(左) 今の学生が知りたいがっている生活面などの情報も織り込んでいる。  
(右) 社員のキャラクターを活かしたインパクトのあるポスター。

大学1、2年生女子学生2名がインターン。これまで広報資料の作成経験はなかったが、大竹組の魅力を多くの若い人に知ってほしい！という熱意のもと作成。社員や地域の人たちとも、とても良好な関係を築いた。



|                     |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業内容                | 土木工事を主体とする総合建設業（社員30名）                                                                                                                                                                                                                            |
| 期間<br>勤務頻度          | 4週間フルタイム<br>（「地域ベンチャー留学」プログラムを活用。一橋大学1年生と明治大学2年の女子学生2名）                                                                                                                                                                                           |
| 受入側の<br>導入目的        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元学生の採用ができておらず、どう見せていけば採用に結びつくのかの調査</li> <li>・仕事の面白さややりがいが変わるような採用ツールの作成</li> </ul>                                                                                                                       |
| インターン生の<br>プロジェクト内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ステップ1：大竹組、高校生の動向を知る<br/>現場へも足を運び、業務を知る。社員ヘインタビュー。採用が多い地元高校などで学生の就活調査。</li> <li>●ステップ2：採用ツールの作成<br/>社員へのインタビュー、学生の調査をとりまとめ、結果を踏まえた採用ツールの作成</li> <li>●ステップ3：採用ツールの完成、発信<br/>完成したツールを社内、学校、地域へ発信。</li> </ul> |
| 成果など                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用ツールとして非常にクオリティの高いリーフレット、ポスター2種が完成</li> <li>・実際に高校に掲示し、企業のwebサイトにも使用。</li> <li>・スーパーやコンビニ等地域施設にも掲示し、地域にも大竹組を広く発信</li> <li>・経営陣が引き出せなかった社員の魅力や表情が前面にでているツールとなった。</li> </ul>                               |

## 日本各地の実践型インターンシップを紹介するサイト 「プロジェクト・インデックス」

<https://www.project-index.jp/>



➤ 地域(437件)

➤ まちづくり(242件)

➤ 国際協力(9件)

➤ こども・教育(89件)

➤ IT・情報(0件)

➤ 農林水産・6次産業(169件)

➤ 環境・エネルギー・バイオ(44件)

➤ 医療・福祉・ヘルスケア(67件)

➤ テクノロジー・テック(19件)

➤ 子育て・女性(18件)

➤ 新しいお金の流れ(8件)

➤ PR・メディア(0件)

➤ 文化・伝統産業(55件)

➤ 観光・おもてなし(144件)

➤ 食・ライフスタイル(185件)

➤ アート・スポーツ(27件)

➤ オリンピック(0件)

➤ ものづくり(89件)

➤ 海外展開・貿易・語学(29件)

➤ 起業・経営支援(112件)

➤ 建築・住・リノベーション(76件)

➤ 小売り・流通(75件)

## 社長・新規事業リーダーと、真剣勝負の現場

2名～30名前後の組織規模。創業メンバーと共に「起業家精神」を身に付ける

## 事業・組織の成長のエンジン

地域・企業にとってもメリットがある。経験より熱意とやる気で出来ることがある

## 4週間～1年間程度でプロジェクト型

時間を割くという「本気と覚悟」。大学との協働も重要。

挑戦したいけど出来ていないこと、どうしてもやりたいことへの着手。  
挑戦する人材を**受け入れ、育み、活用できる組織**への体質変化。

## 事業の成長エンジン



- 新規事業の立ち上げに向けた仮説検証
- 顧客拡大に貢献にしたか(販路開拓)
- 新商品開発など自社製品を持つきっかけになったか
- 新規事業が立ち上がったか
- 売上に貢献したか
- 担当者として事業加速を担ったか
- 既存顧客との関係性に変化はあったか
- 新たな関係者(ステイクホルダー)との関係性の変化はあったか(マスコミ、自治体、経済団体、地域、その他)
- コスト削減

## 組織改革の漢方薬



- 業務プロセスが改善されたか
  - 丸投げ禁止。話さなくても出来るは「x」
- 経営者の姿勢が変化したか
- 社内風土が変化したか
  - 社員がその会社で「働く意味」を考える
- コミュニケーション態勢が変化したか
  - 社長と社員・社員同士の関係性の変化
- 社員の育成に繋がったか
- 新しい**人材を育む制度、風土が出来たか**
  - 人材育成、評価の仕組みが明確化したか
  - 社員の成長プログラムに活用できるか
- これまでに会ったことがない人材と出会えたか？
  - 期間限定だからこそ出会える新たな人材層

## ● 期待をしていない

- 単純労働力or学生用にわざわざ。インターン導入の目的が曖昧だからお客様扱い
- 本気の現場でない。顧客との接点がない。  
→学生も本気！企業(社長)も本気！で取り組む「プロジェクト」を設計する

## ● 仮説がない

- 学生らしく「若い柔軟な発想で」好きにやって欲しい＝経営者がコミットしない
- アイデアに期待しすぎ。アイデア欲しいなら半日ワークショップで良い。
  - 会社の事業戦略上、これに挑戦しようとするのは社長。
  - 学生にやってもらうのではなく一緒に取り組む

## ● 学生、企業のどちらかが受け身

- 参加するまでハードルがない。「決断」していない。自己責任で参加できるか。
- 社内で導入の目的、内容が共有していない
- 社長(担当者)だけが導入したいと考えている。

# 地域にとっての実践型インターンシップ導入の効果(情報発信)

©2023 ETIC. All rights reserved.

## 新聞、テレビ、ラジオ、市報、町内会誌、イベント開催、市長表敬訪問・等。

（第二報載報告写真）

桐生市地域おこし協力隊の岩崎大輔さん(31)が、実践型インターンシップ(就業体験)の地域コーディネーターとして活動を開始した。地域ベンチャー留学を手掛けるNPO法人ETIC(エティック、東京都)と協力し、学生が市内の企業と共に取り組むプロジェクトの達成を後援している。

**学生と企業**

岩崎大輔さん(31)が、実践型インターンシップ(就業体験)の地域コーディネーターとして活動を開始した。地域ベンチャー留学を手掛けるNPO法人ETIC(エティック、東京都)と協力し、学生が市内の企業と共に取り組むプロジェクトの達成を後援している。

2021年(令和3年)9月20日 月曜日

**実践型就業体験を支援**

桐生市地域おこし協力隊の岩崎大輔さん(31)が、実践型インターンシップ(就業体験)の地域コーディネーターとして活動を開始した。地域ベンチャー留学を手掛けるNPO法人ETIC(エティック、東京都)と協力し、学生が市内の企業と共に取り組むプロジェクトの達成を後援している。

**プログラマ作り報告**

桐生市地域おこし協力隊の岩崎大輔さん(31)が、実践型インターンシップ(就業体験)の地域コーディネーターとして活動を開始した。地域ベンチャー留学を手掛けるNPO法人ETIC(エティック、東京都)と協力し、学生が市内の企業と共に取り組むプロジェクトの達成を後援している。

2021年(令和3年)9月20日 月曜日

**インターンシップの学生3人**

「ETIC」役場・集落対象に

桐生市地域おこし協力隊の岩崎大輔さん(31)が、実践型インターンシップ(就業体験)の地域コーディネーターとして活動を開始した。地域ベンチャー留学を手掛けるNPO法人ETIC(エティック、東京都)と協力し、学生が市内の企業と共に取り組むプロジェクトの達成を後援している。



### 富山の名産に若者視点 インターン学生2人、12日に黒部の道の駅でセット販売

3/10(金) 7:45 配信



「春舗マルシェ」のちらしを持つ  
近藤さん(左)と友成さん

webun 富山県新聞

富山県黒部市の実践型インターンシップ事業に参加している県外の大学生2人が、12日に道の駅「KOKOKURU」で開催される「春舗マルシェ」で、富山の名産品のセット商品を販売しようと準備を進めている。業者との交渉など取り組み内容はかなりハード。それでも「悔いを残したくない」とイベントの成功に向け、まい進している。

2人は友成佳奈さん(愛媛大3年)と近藤愛里さん(横浜国立大1年)。2月中旬から1カ月余り、すがの印刷で活動する。

### 商品開発「失敗も学びに」 龍郷町で学生インターン活動報告 事業所も刺激に

3/16(木) 13:01 配信

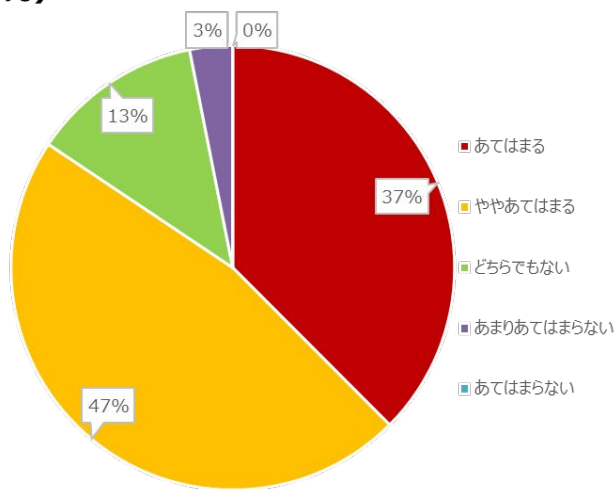


インターンシップの活動成果を報告する(右から)野上さん、佐藤さん  
=14日、鹿児島県龍郷町

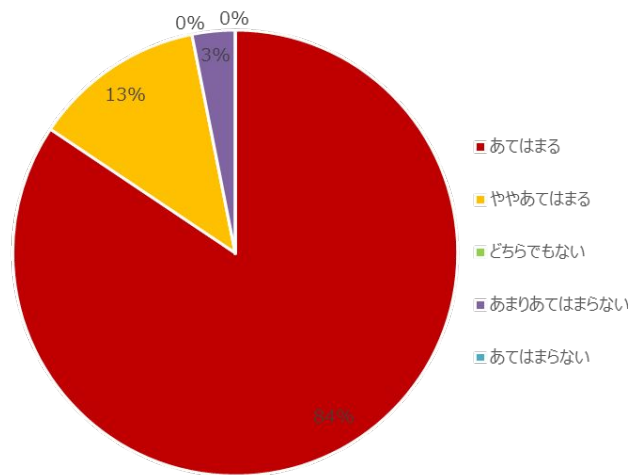
鹿児島県龍郷町の事業所で商品開発に関わるなど実践的なインターンシップ(就業体験)に取り組んだ大学生2人の活動成果報告会が14日、同町生涯学習センターゆうがく館であった。町職員や町内の農業、商工会関係者ら約10人が参加。学生2人は新たな商品を生み出す難しさを振り返り「失敗も学びにつながった」と報告。受け入れ事業所の担当者は「若い人材との交流でスタッフが活気づいた」と波及効果を語った。

## 84%の参加者が、『実際に働く』ことにより中小企業での働き方、地域での働き方が明確に。かつその魅力も発見する。

Q.「中小企業で働く」ことのイメージが向上した。  
(84%)



Q.「地域」や自分のインターンシップ先の地域  
に対するイメージが向上した。(84%)



### <具体コメント>

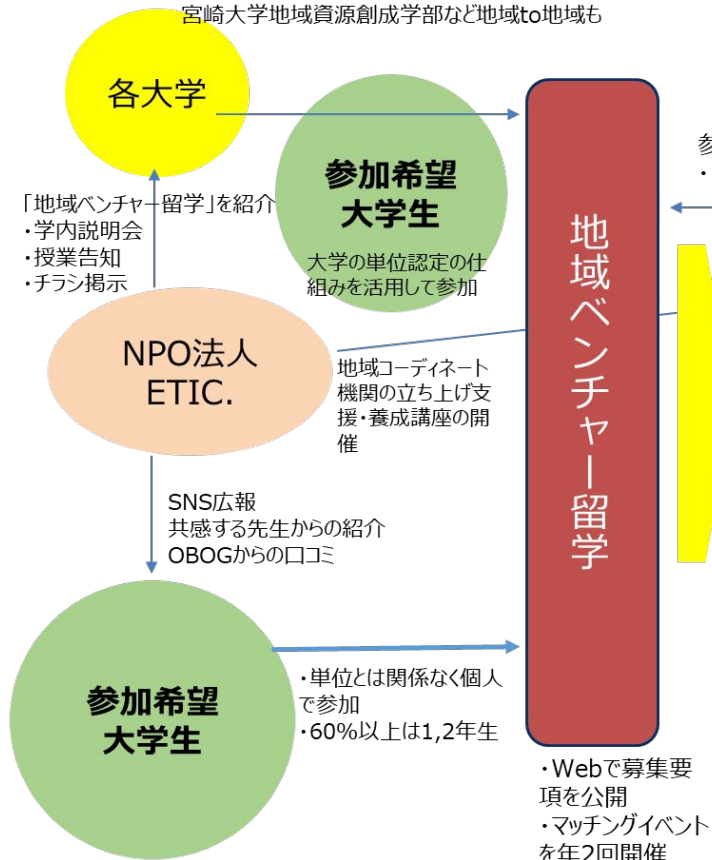
- イメージ的に町工場や小さな建物で一つのことをやっているというものだったので、あたりまえだが中小企業にも種類があり、つながりが目に見えるという点で大手より私が共感できるところが多いと思ったため。
- 中小企業で働いた意識はあまりなかったが、地域の人々の顔が見える働き方がしたいと思ったから。
- 以前から将来的には地元で働きたいと思っているのでより地元で働きたいと思うようになった。
- 中小企業という言葉にマイナスのイメージがあったが、そんなことはないと思った。
- 大企業で働いた経験がないので比較はできないが、中小企業とくらわれる企業で働くことの面白さは感じた。経営判断を行うトップと距離が近いところが魅力。

# 地域ベンチャー留学の実施体制図

©2023 ETIC. All rights reserved.

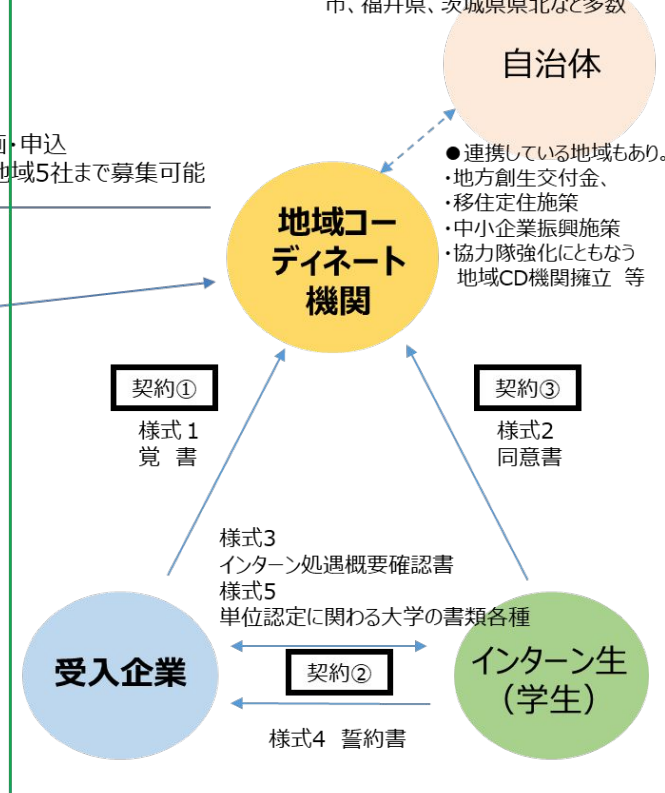
## ●都市部

例) 立教大学経営学部、東洋大学、産業能率大学等多数。  
宮崎大学地域資源創成学部など地域to地域も



## ●各地域

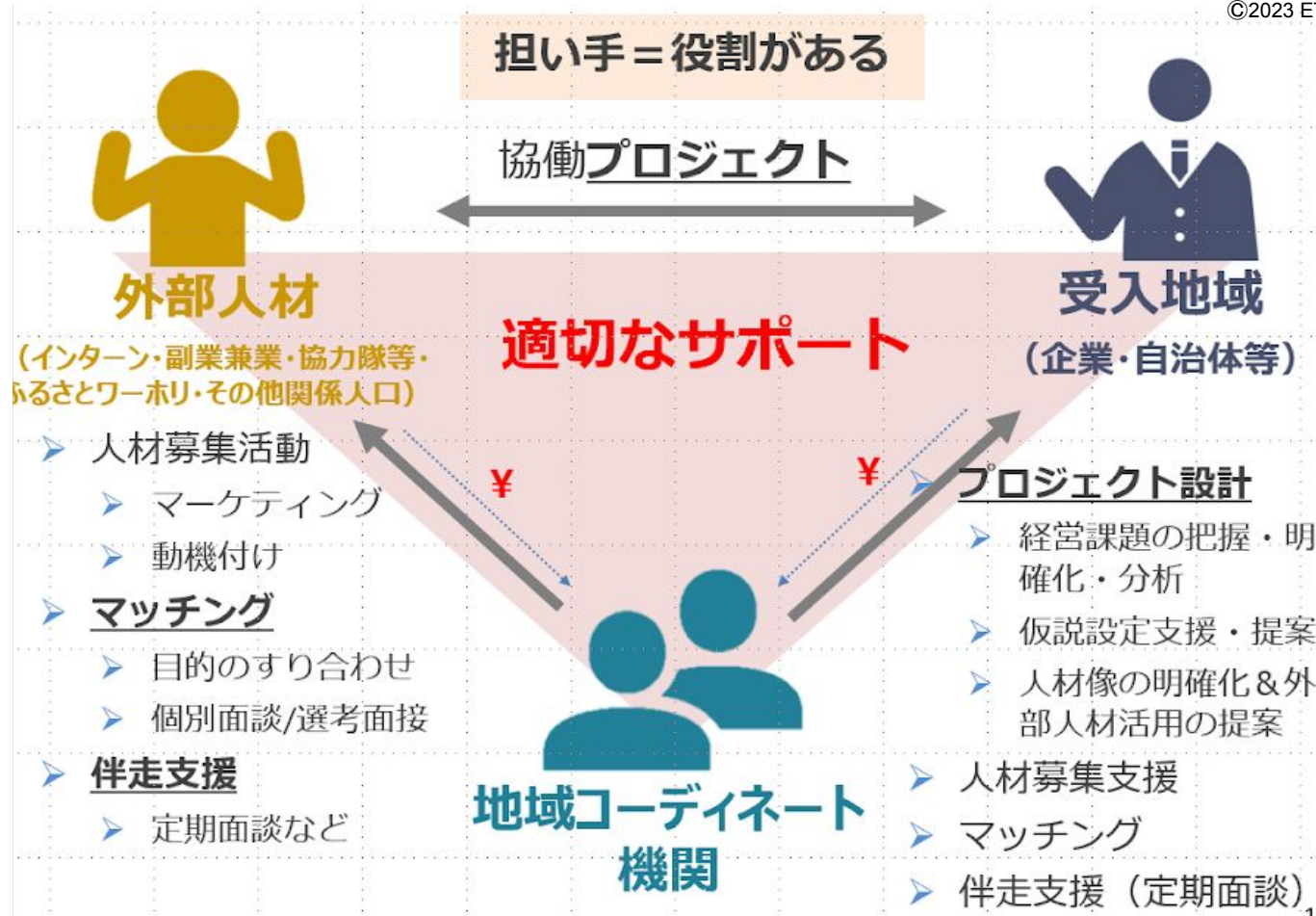
例) 大分県竹田市、千葉県銚子市、  
秋田県羽後町、徳島県南部総合県  
民局、岡山県倉敷市、長野県塩尻  
市、福井県、茨城県県北など多数



※年間30地域120社に150名程度が参加

# 高い目的意識でマッチングを実現する「地域コーディネート機関」

©2023 ETIC. All rights reserved.



# 全国の地域コーディネート機関(中間支援)

©2023 ETIC. All rights reserved.



- 01 北海道・札幌市 | NPO法人北海道エンブリッジ  
02 北海道・浦幌町 | 株式会社ノースプロダクション  
03 北海道・下川町 | NPO法人森の生活下川町産業活性化支援機構  
04 北海道・厚真町 | 厚真町役場株式会社エーゼロ厚真  
05 青森県・青森市 | NPO法人プラットフォームおおもり  
06 青森県・八戸市 | 株式会社バリューシフト  
07 岩手県・盛岡市大船渡市 | NPO法人wiz  
08 岩手県・宮古市 | NPO法人みやこベース  
09 岩手県・釜石市 | 釜石市役所株式会社パソナ東北創生  
10 秋田県・秋田市 | 株式会社あきた総研  
11 秋田県・羽後町 | NPO法人みらいの学校  
12 山形県・山形市鶴岡市 | サクラマスプロジェクト  
(株式会社キャリアクリエイト、合同会社ork life shift)  
13 宮城県・仙台市 | 一般社団法人ワカツク  
14 宮城県・石巻市 | 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン  
15 宮城県・気仙沼市 | 気仙沼市役所気仙沼まち大学運営協議会合同会社colore  
16 宮城県・女川町 | NPO法人アスヘノキボウ  
17 宮城県・南三陸町 | 株式会社SCCA  
18 福島県・県北相双地区 | 一般社団法人Bridge For Fukushima  
19 福島県・相馬市 | NPO法人相馬はらがま朝市クラブ  
20 福島県・葛尾村 | 一般社団法人葛力創造舎  
21 福島県・いわき市 | NPO法人TATAKIAGE Japan  
22 福島県・郡山市 | NPO法人コースター  
23 新潟県・長岡市 | (公)中越防災安全推進機構  
24 富山県・富山市 | 合同会社ハビオブ  
25 富山県・黒部市 | 黒部市役所  
26 石川県・七尾市 | 七尾市役所株式会社御説川  
27 石川県・金沢市 | 株式会社ガクトラボ  
28 福井県・福井市 | 株式会社keru  
29 長野県・長野市 | 合同会社キキ・長野市役所  
30 長野県・塩尻市 | 塩尻商工会議所・塩尻市役所  
31 茨城県・日立市 | 株式会社えぼっく  
32 栃木県・宇都宮市 | NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク  
33 群馬県・桐生市 | 一般社団法人iKi  
34 埼玉県・ときがわ町 | 株式会社温泉道場  
35 東京都・渋谷区 | NPO法人ETIC.  
36 東京都・豊島区 | 大正大学地域創生学部  
37 神奈川県・横浜市 | NPO法人ETIC.横浜ランチ  
38 千葉県・銚子市 | 銚子円卓会議  
39 静岡県・熱海市 | NPO法人atamista  
40 静岡県・浜松市 | 一般社団法人OWN WAY  
41 愛知県・名古屋市中 | NPO法人アスクネット  
42 愛知県・岡崎市 | NPO法人コラボキャンパス三河

- 43 岐阜県・岐阜市 | NPO法人G-net  
44 岐阜県・高山市 | NPO法人まちづくりスポット  
45 三重県・四日市市 | 一般社団法人わくわくスイッチ  
46 三重県・尾鷲市 | 一般社団法人つちからみのれ  
47 和歌山県・田辺市 | 株式会社ODAY  
48 大阪府・大阪市 | NPO法人JAE  
49 京都府・京都市 | 株式会社ツナグム  
50 京都府・与謝野町 | 株式会社ローカルフラッグ  
51 兵庫県・豊岡市 | 但馬信用金庫  
52 兵庫県・宍粟市 | 人材力フル活用プラットフォーム推進会議(市役所・信金・商工会)  
53 兵庫県・淡路市 | 淡路ラボ(株式会社次世代共創企画)  
54 岡山県・岡山市 | NPOエアインベーション  
55 岡山県・西栗倉村 | 西栗倉村役場エーゼロ株式会社  
56 鳥取県・鳥取市 | NPO法人bankup  
57 島根県・松江市 | 株式会社シーズ総合政策研究所  
58 島根県・雲南市 | 一般社団法人umi/雲南市役所NPO法人おっちらぼ  
59 広島県・東広島市 | 行政書士なかしま事務所 中嶋直哉  
60 山口県・周防大島町 | 株式会社ジブノオト  
61 徳島県・徳島市 | 徳島大学COC+推進コーディネーター  
62 徳島県・南部市4町 | 「四国の右下」若者創生協議会(徳島県庁南部総合県民局)  
63 徳島県・上勝町 | 上勝町役場合同会社バンゲア  
64 徳島県・三好市 | WAKUWAKUHOUSE MATBA  
65 愛媛県・松山市 | NPO法人Eyes  
66 愛媛県・久万高原町 | 久万高原町役場ゆりラボ  
67 高知県・高知市 | 高知大学  
68 高知県・四万十町 | 一般社団法人いなかパイプ  
69 福岡県・福岡市 | 4TuneShape株式会社・九州インターンシップ推進協議会  
70 福岡県・飯塚市 | 株式会社ハウインターナショナル  
71 熊本県・熊本市 | 一般社団法人フミダス  
72 熊本県・南小国町 | 南小国町役場株式会社SMO南小国  
73 熊本県・球磨郡五木村 | 株式会社日露  
74 大分県・竹田市 | まちづくりたけだ株式会社竹田市役所／一般社団法人竹田市移住定住支援センター  
75 宮崎県・宮崎市 | 宮崎大学学び・学生支援機構地域人材部門Capa+(キャパタス)  
76 宮崎県・日南市 | 日南市役所日南市ローカルベンチャー事務局  
77 鹿児島県・鹿児島市 | 株式会社マトピラ  
78 鹿児島県・鹿児島市 | 一般社団法人テンラボ  
79 鹿児島県・奄美大島龍郷町 | 一般社団法人AE'more秋名  
80 沖縄県・那覇市 | 一般社団法人しまのわ

太字:チャレンジコミュニティプロジェクト会員(2023年4月現在)

細字:その他事業等での連携コーディネート機関

下線:ローカルベンチャー協議会参加自治体

## 【参考】地域ベンチャー留学に参加した学生たちの事例映像（動画・14分）

©2023 ETIC. All rights reserved.



## 【参考】実践型インターンシップ受け入れ企業の事例紹介(動画・12分)



事例から学ぶ

有限会社 大橋量器（岐阜県大垣市）  
のインターンシップ活用方法





## 伊藤 淳司(いとう じゅんじ) junji@etic.or.jp

NPO法人ETIC.(エティック) ローカルイノベーション事業部 事業部長

愛知県名古屋市生まれ、2歳～17歳までは広島市在住。早稲田大学教育学部卒。1997年からETIC.に参画し、日本初の長期実践型インターンシップ「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム(EIP)」の事業立ち上げに携わる。コーディネーターとして、これまで1000社以上に対して外部人材を活用した新規事業立ち上げ・少数精鋭組織のコンサルティングに関わる。2004年から「若者×経営者×地域=挑戦が生まれる日本」を目指すチャレンジ・コミュニティ・プロジェクト(チャレコミ)の立ち上げに参画。現在、日本全国の多様な地域・セクターのコーディネーター育成を担当。その他、社会起業家予備軍の成長過程におけるプロセス評価分析、行政・地方自治体との創業起業支援、リーダー育成協働プロジェクト、大学との実践型カリキュラム開発も担当。早稲田大学MBA取得。専門は『起業家型人材が有する思考・行動特性(コンピテンシー)に関する研究』。立教大学経営学部、横浜国立大学経営学部の兼任講師。一般社団法人地域・人材共創機構理事、NPO法人Eyes理事も務める。



### ◆高等教育(非常勤/兼任講師)

- 立教大学経営学部「長期実践プログラム」(事前事後授業+インターン実習 4週間or4か月以上フルタイム 10単位)
- 横浜国立大学経営学部「マーケティングプラクティス」(PBL型)／「マイプロジェクトランチャー」
- 早稲田大学MBAコース「NPOと社会起業家から学ぶリーダーシップ」(2010年～2015年)
- 高知大学客員准教授(2014-2020)長期社会協働インターンシップ(CBI-Collaboration Based Internship-)を2004年から協働開発。新2年次3月～9月までの半年間、首都圏でフルタイムの長期インターンシップに参加して 14単位。

### ◆専門家会議・委員・講師等:

- 総務省「地域おこし協力隊ビジネスサポート事業」審査員・アドバイザー(2019-22)
- 内閣府まち・ひと・しごと創生本部「地方創生インターンシップ推進研究会」委員(2018-21)
- 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業の委託に関する提案書評価委員(2019-2020)
- 中小企業庁「地域中小企業の人材確保・定着支援事業(地域コーディネーター発掘等事業)」(平成 26年度)
- 中小企業庁「地域人材コーディネーター養成事業(若者向け)」(平成 27年度(26年度補正予算))
- 宮崎県「地域人材コーディネーター養成講座」(令和 3年度・宮崎大学 産学・地域連携センター Capa+(キャパタス))
- 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」中国四国地域(高知大学グループ・島根グループ)第三者評価機関・外部委員。中四国地域の大学におけるインターンシップの質と量の拡充のサポート(2013-15)
- 産業経済研究委託事業(経済産業省)「教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査」(2014)上席研究員

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/intern/intern.html>

